

目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた どんな音
- 4 今月の詩 揺籃のうた 北原白秋
- 5 たし算 3の段
- 6 ことわざ るりもはりも照らせば光る 雨降って地固まる
石の上にも三年 一を聞いて十を知る
- 7 かけ算 4の段
- 8 俳句 鈴木花蓑 松尾芭蕉 与謝蕪村
- 9 かぞえうた 1箱 1台 1本 (マッチ、ベッド、にんじん)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた 一本橋こちょこちょ
- 12 音の絵本 アマガエル ヒキガエル トノサマガエル
ウシガエル アオガエル
- 13 イメージストーリー リード君 (第3話 お腹をこわしたフルフル)
(イメージしてみましよう)
- 14 今月のうた バイキンバイバイ
- 15 おはなし 三匹の子ぶた
- 16 童謡 揺籃のうた
- 17 漢詩 鶴鵲楼に登る
- 18 百人一首 参議雅経 儀同三司母 紀友則 和泉式部
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《^{おと}どんな音》

1と1で トントントン 2の^{おと}音よ

(^{みぎて}右手と^{ひだりて}左手の^{ひとさし}人差し指を^{ゆび}出し、^だトントんとあわせる)

2と2で トントントン 4の^{おと}音

(^{おな}同じように^{ゆび}指を2本^{ほん}出し、^だトントんとあわせる)

3と3で トントントン 6の^{おと}音

(^{おな}同じように^{ゆび}指を3本^{ほん}出し、^だトントんとあわせる)

4と4で トントントン 8の^{おと}音

(^{おな}同じように^{ゆび}指を4本^{ほん}出し、^だトントんとあわせる)

5と5で トントントン 10の^{おと}音

(^て手を^{ひら}開いて、トントんと^て手をたたき、^{さいご}最後に^こ子どもを^こコチョコチョコとくすぐる)



ゆりかご
揺籃のうた

きたはらはくしゅう
北原白秋

ゆりかご
揺籃のうたを、
カナリヤが歌う、よ。
ねんねこ、ねんねこ、
ねんねこ、よ。

ゆりかご
揺籃のうえに、
枇杷の実が揺れる、よ。
ねんねこ、ねんねこ、
ねんねこ、よ。

ゆりかご
揺籃のつなを、
木ねずみが揺する、よ。
ねんねこ、ねんねこ、
ねんねこ、よ。

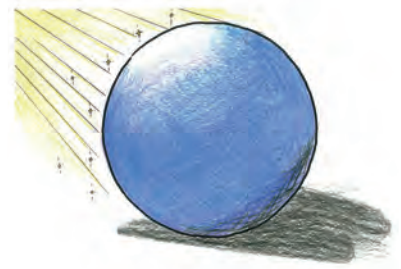
ゆりかご
揺籃のゆめに、
黄色い月がかかる、よ。
ねんねこ、ねんねこ、
ねんねこ、よ。



ことわざ

るりもはりも^て照^{ひか}らせば光る

すぐれた^{さいのう}才能^もを持っているものは、^{ひかり}光^あを当てれば
それぞれ^{かがや}輝いてすぐにわかる。



あめ^ふ雨^じ降^{かた}って地固まる

もめごとのあつた^{あと}後^{まえ}、前よりかえって^よ良^{じょうたい}い状態になる。



いし^{うえ}石の上にも^{さんねん}三年

いくら^{つら}辛くても、辛抱^{しんぼう}していれば^{さいご}最後^{せいこう}には成功する。



いち^き一^{じゅう}を聞いて十^しを知る

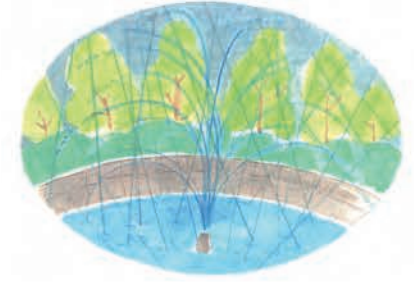
^り理^{かい}解^{はや}が早く、^{ひじょう}非^{かしこ}常に賢いこと。



俳句

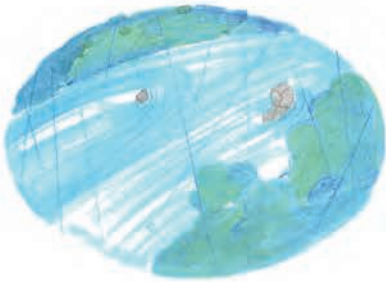
ふんすい 噴水や ふりかくされて あめ なか 雨の中

すずき はなみの
鈴木花蓑



さみだれ 五月雨を あつめてはやし も がみがわ 最上川

まつお ばしろう
松尾芭蕉



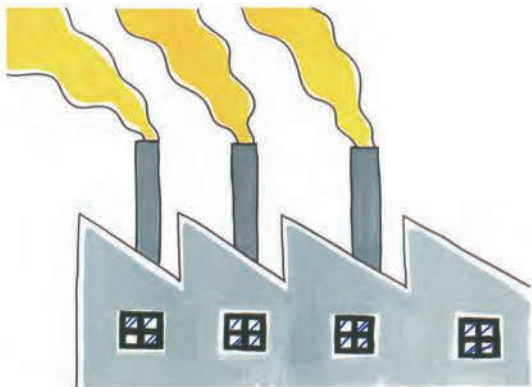
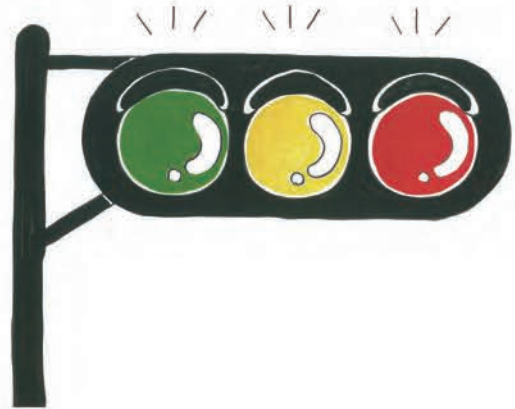
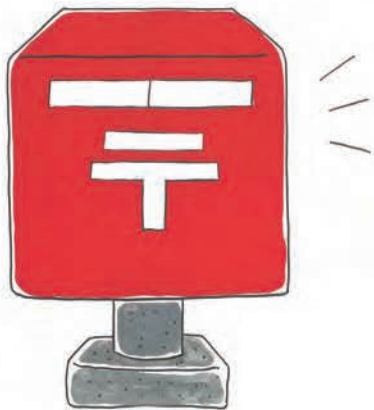
あゆ 鮎くれて よらですぎゆく よ わ 夜半の門かど

よ さ ぶ せん
与謝蕪村



なぜなぜ

- 1 手紙てがみやはがきが大好きで赤あかい色いろをして道みちに立たっているものななに？
- 2 赤あか青あお黄きいろ色の目めが三みつつ、一いっ本ぽん足あしで道みちに立たっているものななに？
- 3 せいたかのっぽで空そらに向むかって煙けむりをはいているものななに？
- 4 道どう路ろの上うえにかかっている橋はしはなに？



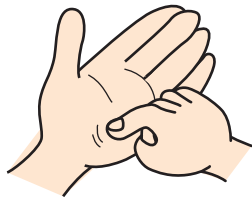
《一本橋こちょこちょ》
いっぽんばし

① さいしょはグー ジャンケンポン
 まけたひとは手てをだして

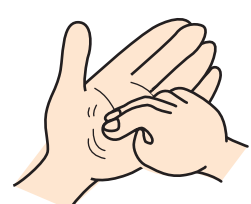
② いっぽんばし ③ こちょこちょ ④ にほんばし ⑤ こちょこちょ



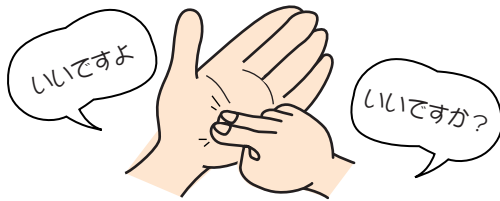
まけた人ひとの手てのひらに
 ひとさしゆびをおく



手てのひらを
 こちょこちょ

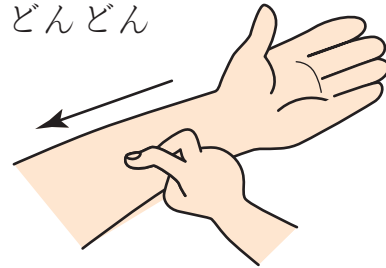


⑥ ニかいにのぼって いいですか？
 はいどうぞ



うたにあわせて
 手てのひらをトントン

⑦ どんどこ どんどこ
 どんどこん



うでしたの下から上うえにのぼって
 いくように、ゆびをうごかす

⑧ ごほんばし



⑨ こちょこちょこちょ
 こちょこちょ……

わきしたの下を
 くすぐる



音の絵本

こんげつ
今月は、いろいろなカエルたちです。

- 1) アマガエル
- 2) ヒキガエル
- 3) トノサマガエル
- 4) ウシガエル
- 5) アオガエル



アマガエル



トノサマガエル



ヒキガエル



ウシガエル



アオガエル

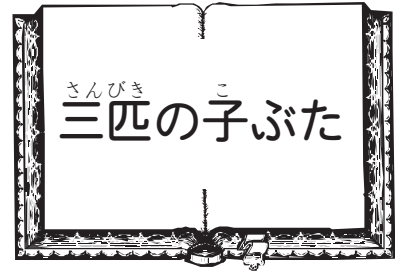
《バイキン バイバイ》

バイキンと バイバイするには ^て手をあらう
^て手がきれいになると バイキン バイバイ さようなら

^{そと}外から^{かえ}帰って ^て手をあらう
トイレの^{あと}後は ^て手をあらう
^{しょくじ}食事の^{まえ}前に ^て手をあらう
おやつの^{まえ}前に ^て手をあらう

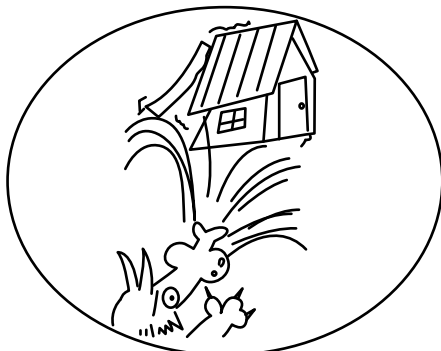
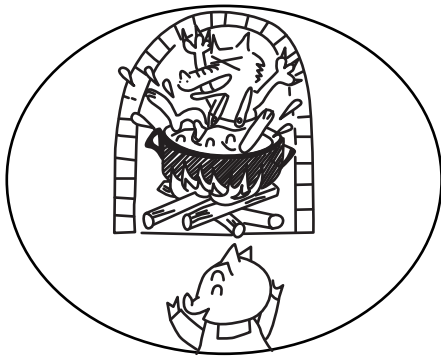
^{せいけつ}清潔^{せいけつ}清潔 ^{きも}気持ちがいいね
^て手が^{ひか}ピカピカ光ってる
バイキン バイバイ さようなら





「さんびきの子ぶた」は、子ぶたとオオカミのお話です。
お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 一番目、二番目、三番目の子ぶたたちは、それぞれどんな家を作りましたか。
- 2 三番目の子ぶたは朝六時に、何を取りに行こうと狼に誘われたのですか。
- 3 お祭りで三番目の子ぶたは、何を買いましたか。
- 4 狼は三番目の子ぶたをいろいろと誘いますが、どうしてでしょうか。
- 5 狼は、最後に、屋根に登りました。どうしようと思ったのですか。



白日^{はくじつ} 山^{やま}に依^よりて尽^つき
黄河^{こうが} 海^{うみ}に入^いりて流^{なが}る
千里^{せんり}の目^めを窮^{きわ}めんと欲^{ほつ}し
更^{さら}に上^{のぼ}る一^{いっ}層^{そう}の楼^{ろう}

鶴^{かん}鵲^{じやく}楼^{ろう}に登^{のぼ}る

王^{おう}之^し渙^{かん}

み吉野の
山の秋風さ夜更けて
ふるさと寒く衣打つなり

忘れじの
行く末までは 難ければ
今日を限りの 命ともがな

ひさかたの
光のどけき 春の日に
しづ心なく 花の散るらむ

あらざらむ
この世のほかの
今一度の逢ふこともがな
思ひ出に

(参議雅経)

(儀同三司母)

(紀友則)

(和泉式部)



参議雅経